



学校だより

【教育目標】 学ぶ心 思う心 挑む心

令和5年度 第9号

神林中学校(☎66-5313) 令和5年12月22日

新年を迎える節目の冬休み「丈夫な節」を作る（終業式での話より）

時計の針を見ると、私はいつも生徒の皆さんのことが思い浮かびます。時計の針は動いている様子は見えませんが、1時間たつと長い針は1周します。短い針も、12時間で1周しています。確実に動き続け、けっして止まることはありません。皆さんも毎日の変化には気付きませんが、1週間、1か月と過ごす間に、確実に成長し変化しています。

1年生は入学してたくさんの経験をして、もう一人前の中学生です。そして、3か月後には先輩になります。2年生は、中堅学年として色々な活動を支えてくれました。来年度の生徒会役員も決まり、最上級生そして義務教育の最終学年になります。そして、3年生は、この学校のリーダーとして神林中学校の5年目の歴史を作ってくれました。今年度の卒業式は3月5日。卒業まであと2か月と少しとなりました。

さて、この止まらない時間の中で、成長を続けるみなさんですが、新しい年を迎えるこの冬休み、少し立ち止まってほしいと思います。

みなさんは、竹が丈夫な理由は知っているでしょうか。その理由の一つは「節」があるからです。節のないただのパイプは力を加えるとつぶれて曲がってしまいますが、竹は「節」があることで、折れずに、しなやかで、大きな力にも耐えることができます。皆さんも、すすくと同じように伸びることも大切ですが、少し立ち止まってしっかりとした「節」をつくることも大切だと思います。



節を作るために必要なことは何でしょう。私は、今までの自分を振り返ること、そして、これから進むための決意をすることだと思います。

まず、頑張った自分を褒めてあげましょう。

当たり前といわれることも、続けるためには、色々な努力が必要だったと思います。楽しいことばかりではなかったはずです。好きなことだけしてきたわけではないと思います。苦しいことに挑戦したり、やりたいことを我慢したりしてきましたね。そんな努力の中、成長してきた自分を、他の人と比べるのではなく、自分自身が認め、褒めてあげてください。

そして、もう一つ「うまくいかなかったこと」「こうすれば良かった。」「もっとこうなりたかった。」という自分もあるはずです。そんな自分の姿もしっかり振り返って、次の目標を確認し、前に進む決意と覚悟をもってほしいと思います。

「これでいい。」「どうせこれはできない。」と思った瞬間に、どんなに若くても、人は成長をやめてしまうそうです。どんな小さなことでも「もっと、こうなりたい。」「こうしたい。」をもっている人は、老人になっても成長を続けるそうです。

この冬休み、時間は止まりませんが、しっかりと自分を振り返り、新たなスタートへの準備をし、次の成長につなげる冬休みにしてください。

家族や親戚の人と普段できない話をしたり、ゆったりとした時間を過ごしたりすることも「丈夫な節」をつくるために大切な時間だと思います。家庭によっては、クリスマスや大掃除、年越しの準備など、忙しい休みになる人もいるかもしれませんが、そんな中でも、今までのことを思い出したり、新たな年への決意をしたりしながら、大切な節目をつくる冬休みにしてほしいと思います。

冬休み～1月の予定

- 12月
- 22 金 2学期終業式
- 25 月 冬季休業日（～1/5）
- 29 金 学校閉庁日 諸活動停止（～1/3）



- 1月
- 9 火 3学期始業式
- 10 水 フッ化物洗口、3年実力テスト、PTA 理事会
- 11 木 3年放課後学習会
- 16 火 合同部活動
- 17 水 フッ化物洗口
- 18 木 生徒朝会 新入生保護者説明会
- 23 火 合同部活動
- 24 水 職員会議
- 29 月 生徒総会議案書審議 3年放課後学習会
- 30 火 合同部活動 3年保護者会①
- 31 水 フッ化物洗口 3年保護者会②

令和6年度生徒会役員決定

12月1日 令和6年度生徒会役員立会演説会と投票が行われました。5つの役職に対して6人の立候補者がありました。



体育館で、全校生徒が見守る中、6人の候補者とその責任者が、生徒会への思いを語りました。



今までの学校生活や先輩の姿を元に「今の学校のここをもっと良くしたい。」「こんな活動をやってみたい。」という抱負を自分の言葉で熱く語ってくれました。その顔はとても真剣で、そして清々しく、頼もしく感じられました。各候補者には、3年生から質問があり、その心構えや生徒会への願いを、さらに深く聞くことができました。

こんなにも、学校のことを思い、挑戦したい、貢献したいと真剣に考えてくれている生徒がいることを誇りに思います。そして、これからスタートする、神林中学校の新たな歴史の1ページがとても楽しみに感じられました。同票による決選投票の後、5名の新役員が決定し、12月14日に任命式を行いました。これから、生徒会執行部や各専門委員会の委員長が選出されます。新しいリーダーを中心に3年生の意志を引き継ぎ、新年度の準備を進めてほしいと思います。

令和6年度神林中学校生徒会	
生徒会長	内山 朔
副会長男子	遠山 和輝
副会長女子	富樫 百葉
書記長	沢田萌々香
応援団長	石田向佑英

いじめ見逃しゼロスクール集会

11月28日(火) 神林中学校体育館に、平林小学校と神納小学校の5, 6年生、神林中学校全校生徒が集まり、神林中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。

今年度は神林地区青少年育成市民会議のご協力をいただき、新潟お笑い集団NAMARA所属の漫才コンビ「ジャックポット」様をお招きしました。

「コミュニケーション講座」ということで、柔軟な見方、考え方の大切さや伝えることの難しさを実感するクイズ、ゲームなどの実技を交えながら、お互いが楽しく過ごすために大切なことをお話しいただきました。その後、24グループに分かれ、「色々な個性をもつみんなで、上手に生活するために自分にできることは何か。」というテーマで話し合いを行いました。

3つの学校の児童生徒が混じったグループで、初めは緊張気味でしたが、意見を出し合う中で「個性を認め合う。」「相手の話を最後まで聞く。」など、心がけたいことやみんなですべて守っていききたいことを出し合う姿が見られました。最後に、各グループからの意見をジャックポット様にまとめていただき、「いじめ見逃しゼロ」のためにできることを全体で確認しました。

寒い体育館でしたが、笑いや拍手がいっぱいの中、3校の児童、生徒が一つになって心があたたかくなる話し合いができました。



人権強調週間の取組

神林中学校では11月27日(月)～12月8日(金)を人権強調週間として、人権について考える取組を行いました。上記のいじめ見逃しゼロスクール集会の他、各学年で同和教育副読本『生きる』を活用した授業を2週(1学年は3週)にわたって行いました。

各学年の発達段階や実態に応じて、差別や偏見を含んだ様々な事象に触れる中で、その問題に気づき、憤り、そして誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、その問題を克服しようとする行動ができるように、意識を育て、高めるための学習を行いました。

各学年、差別や偏見の不合理性について真剣に考え、その解消のためにできることや心がけたいことを自分の言葉で表現していました。

「やる気スイッチはどこ？」 脳科学に学ぶ学習法

1 やる気は身体や環境から生まれる。

脳に伝わる情報はすべて身体から伝わります。ですから、身体や周りからの刺激で脳のスイッチが入ります。例えば、笑顔でいると笑いやすくなったり、声を出すことで気合いが入ったりします。しっかり目が覚めてから起きるのではなく、起きて活動しているうちに脳も目覚めるのです。

ですから、勉強でも運動でも、やる気が起きてからやるのではなく「まずやってみる」ことが「やる気のスイッチを入れる」のです。また、脳は場所の刺激に敏感です。やる場所を決めて、そこへ行くことでスイッチが入ることもあります。

時間と場所を決めて、それが習慣になると、やる気がなくても自然にできるようになります。そして、「〜へ向けて頑張るぞ」というような前向きな言葉を見えるところに貼ると、無意識でも目に一瞬見えるだけで脳は反応します。

2 脳の特徴を利用した学習法

脳の海馬という場所は記憶の整理、貯蔵をする大切な部分です。この海馬は飽きやすく、ワンパターンの方法だと慣れてしまい、「分かった」と勘違いしてしまい、学習の効果が薄くなってしまいます。そこで、学習方法は、覚える学習だけではなく、覚えたあとに使ってみる。試してみる学習法を組み合わせること。同じ問題ばかりやるのではなく色々な問題を混ぜて「本当に分かっているか？」と脳を働かせながら学習すると、より効果が高いそうです。また、脳が場所に敏感なことを利用して、机の周りを回るなど場所を移動しながら学習すると記憶が定着する性質があります。そして、学習後に記憶を整理し定着させるために15分でも良いので睡眠をとることが大切だという研究があります。眠れなくても、静かに暗くするだけでもその効果はあるそうです。

- 東京大学大学院 池谷裕二教授が執筆または講演された以下の資料を参考に作成しました。
- ・「学習、成長—未来の脳を考える」令和3年度全日本中学校長会静岡大会記念講演
 - ・「やる気が出る脳のだまし方」PRESIDENT2009年3月2日号
 - ・「やる気は脳ではなく体や環境から生まれる」ベネッセ教育総合研究所 BERD2008 NO.13

幸せになる習慣を身に付ける 毎日の健康観察のデータから

毎日、生徒が入力している健康観察のデータ（11月分合計2147回）を分析した結果から神中生の特徴と課題を分析しました。

平均睡眠時間を見てみるとおおよそ7時間30分程度でした。また、就寝時刻を見ると、11時前に就寝している生徒は1、2年生で半分程度、3年生は3分の1程度でした。遅い就寝になると、授業への集中力が下がり免疫力も下がります。身体を成長させたり、疲れた身体を修復したりする「成長ホルモン」をしっかりと出すためにも、11時までに寝て、7時間以上の睡眠をとる習慣を身に付けてほしいと思います。

メディア利用時間を見てみると平均では目標とする120分以内をほぼ達成しています。しかし、時間毎の人数を見てみると、3時間を越える生徒が20%程度いました。もし、やりたいただけメディアを使っているとすると、それが癖となって「やらないと我慢できない」状態になります。そして、それが、「自分ではやめられない」状態になってしまうと『依存症』という治療が必要な状態になってしまいます。ネットのゲームを開発している人の中には、そのような依存（中毒症状）を引き起こす仕組みを利用することもあります。適度なメディア利用で大切な時間を自分のために使い、楽しく充実した時間を過ごしてほしいと思います。

家庭学習時間を見てみると、平均で3年生91分、2年生72分、1年生78分でした。1時間以上学習する生徒は全国並でしたが2時間以上学習する生徒は3年生以外やや少ない傾向です。そして、一番、気になるのは学習時間ゼロがかなり多い（1年生12%、2年生24%、3年生7%〔全国6%〕）ということです。

短くても毎日学習をすることが普通になると学習が生活の一部になります。そして、顔を洗うようにお風呂に入るように、学習することが苦にならなくなっていくと思います。学習0の日をなくし、自分の生活の中で学習することが当たり前になる習慣を身に付けてほしいと思います。それが「神林中の常識」なることを願っています。その時、ぜひ、細切れ時間、すき間時間を大切にしてほしいと思います。生活の中で少し余った10分や15分を無駄にせず、漢字や単語、小問の学習、デジタルドリル等に使いましょう。

健康・楽しみ・学習のバランスがとれた、長続きする、幸せになる習慣を見つけてほしいと願っています。

脳の性質を自分の学習に生かそう！

やる気スイッチは身体から

- 1 まずやってみる** 身体が動くと脳のスイッチがオン=やる気
- 2 時間と場所を決める** 時間と場所（習慣）がスイッチを入れる
- 3 前向きな言葉、元気が出る言葉を貼っておく** 脳はその気になりやすい

脳の性質を利用した学習方法

- 1 覚える+使ってみる（テスト、説明）** 脳の力を十分使って記憶
- 2 一度覚えたら違うものと比較、混ぜた問題** 脳を飽きさせない
- 3 覚えるときは歩きながら** 場所の移動が脳を刺激
- 4 学習したあとに睡眠を** 寝ている間に脳内を整理⇒記憶が向上

民生委員、児童委員の皆様がお越しくださいました。

12月12日(火)神林地区の各集落を担当されている民生委員の皆様と主任児童委員の皆様がお越しください、授業参観と懇談会を行いました。授業参観では、3年生の音楽の授業で校歌を歌っている場面でした。神林中自慢の校歌を堂々と歌う様子を目の前で聞いていただき、拍手をいただきました。その他、電子黒板に写される映像を参考にしながら書く書道の授業や、岩石のでき方と名前をまとめた歌と映像を見ながら学習の様子などを見ていただきました。民生委員児童委員の皆様からは、生徒の真剣に授業に向かう姿や、課題やまとめがしっかりと示されている授業に、お褒めの言葉をいただきました。懇談会では、学年主任も加わり、授業の方法の変化や学力向上へ向けた取組の状況、スマートフォンの使用や生徒の生活の様子等について情報交換させていただきました。「子どもは地域の宝」という言葉をいただきました。民生委員児童委員の皆様はじめ、地域の皆様との「つながり、連携、協力」をさらに深め、子どもたちの笑顔と成長をしっかりと支えていきたいと考えております。



1年生 福祉体験

12月14日(木)1学年福祉体験を行いました。新潟県介護福祉士会からお二人の講師にお越しいただき、クラス毎に1時間ずつ介護についての講演と体験の指導をしていただきました。高齢者体験(疑似ミニ体験)では、生徒の一人が、装具やメガネなどをつけ、高齢者の動きや見え方を疑似体験し、もう一人の生徒が介助しながら階段を上り下りしました。生徒は、「身体をまっすぐにできない」「関節がうまく動かない」「視野が狭い」「見えにくい」など不自由さを体感していました。そして、脇で手を引いたり、優しい声をかけてくれたりする介助のありがたさも感じていました。介護についての講義では、介護の意味や大切にしていること、やりがいなど、ご自身の体験を交えてお話してくださいました。生徒は、はじめは「大変な仕事」という印象をもっていましたがお話を聞いて、「大切な仕事」「やりがいのある仕事」という印象に変化していたようです。また、中学卒業後、介護の職業に就くまでの進学や資格についてのお話を聞いて、将来の進路について考える機会にもなりました。



球技大会 令和5年最後の思い出を

12月19日(火)、20日(水)の2日間午後の時間を使って球技大会を行いました。生徒会の執行部の企画で、種目は「ドッジボール」、クラス対抗の総当たりで試合を行いました。体育館の中央の1コートで試合を行い、試合をする2クラス以外は全員ギャラリーから応援しました。全校生徒の投票で種目を決定したり、女子専用ボールと男女兼用ボールを設定したり、時間毎にボールの種類を変えたり、人数の少ないチームは二人分を担う選手を決めたりと、公平な中で全員が楽しめるようにルールを工夫して行いました。外は積雪があり寒い体育館の中でしたが、対戦するクラスとギャラリーから応援する全校生徒の気迫で、熱気が満ちていました。運営はすべて生徒会執行部を中心とした生徒の手で行われ、令和5年最後の全校での行事をしっかりとやり遂げました。各クラスの団結、生徒の成長を感じるとても充実した時間でした。



令和5年をしめくくる神中の活躍

第54回 新潟県ジュニア美術展覧会【奨励賞】 横山心柚

村上市岩船郡児童生徒図画展覧会 出品

鈴木花香 鈴木菜月 近 啓人 田村彩乃 木村日茉莉 鈴木千咲

第47回新潟県アンサンブルコンテスト

銅賞 木管打楽器8重奏(加賀詩織 佐藤莉子 本間真央 美野和心 小林恵衣 田村 葵 小川 翠 本間絢葉)

銅賞 金管8重奏(横山莉央 平山心結 横山みのり 長柄青空 八藤後七織 齋藤音逢 横山心柚 加藤仁子)

☆表彰はありませんでしたが下記のように新人大会での健闘がありました。来春が楽しみです。

卓球部(女子団体) 新潟県新人卓球大会7位(勝敗数は5位と同数)

Hangout(バスケットボール) 下越地区新人大会6位(県大会出場まであと1勝)

女子バレー部 下越地区新人大会6位(県大会出場まであと1勝)